



救世覚者天皇出現誓願

すめらぎ

皇三重塔 建立趣意

このままでは、我々人類は滅亡するしかない——今、世界中の多くの識者たちが、共通してこう警告し続けています。

環境問題を初めとする、根本解決不可能と思われる数々の重大問題が、人類の行く手に大きく立ちちはだかっているからです。

人生の真実を何一つ知らないままに、不自然な物欲や金銭欲ばかりを無制限にあり立てる愚劣極まりない近代西洋物質文明は、完全に行き詰まってしまっているのです。

そんな今日、これまでの常識の全てを根柢からとがえす、わが国神代の精神文明の奥義が、長い長い眠りから覚めて人知れずよみがえろうとしています。

全体は個の幸せのために、個は全体の幸せのために——こんな自然界の根本原理を政の基本理念にして古の日本人を教導し、万人和楽の和ノ国日本の礎を築いたとされるのが皇祖天照大神です。

そんな天照大神のたいなる和ノ心を心とする、本来あるべき姿の理想の天皇が、神代以降三千年以上にも亘って固く閉ざされたままだった「天岩戸」を自ら開いて出現して来そうなのです。

徳仁今上天皇が、人生の真実に目覚めた「覚者」となって、全人類待望の「救世主」に大変身される可能性が極めて高いのです。

本皇三重塔は、そんな救世覚者天皇出現を誓願し、併せてその救世大聖業を永く顕彰するべく建立されたものです。

ご神体には、ご成婚時の若き徳仁皇太子の等身大彩色木彫尊像をお祭り申し上げております。

令和三年一月吉日

覚者播磨屋助次郎 謹言



東京芸術大学大学院 藪内佐斗司教授作